上毛新聞
所（〒371-8666） 前橋市古市町1-50-21
毛新聞社
話 市外局番(027)
)254-9933（広告）254-9944
)254-3131（事業）254-9955
)254-9955（出版）254-9966
)254-5551（登送）254-9984
)254-9977（総合）254-9911
上毛新聞社 2006年

お茶とのり 水本園

センター
027-254-9922
FAX 027-251-4334
メール
udou@jomo-news.co.jp
のホームページ
p://www.raijin.com/

ETC専用

駒寄インター常設化

10月から関越道ＰＡ

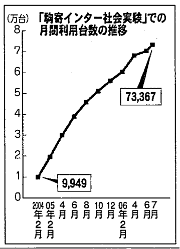
来月、正式に決定

吉岡町など地元協議会 国交省へ申請書提出

国土交通省が関越自動車道駒寄パーキングエリア（ＰＡ）で社会実験として運用しているＥＴＣ専用インターチェンジは、十月一日から常設化される見通しとなった。利用台数は全国三十一カ所の実験インターで最も多く、地元の「駒寄ＰＡスマートインターチェンジ設置地区協議会」（会長・小林稔彦吉岡町長）が十八日、二十四時間利用などを盛り込んだ常設化の申請書を同省に提出した。同省高崎河川国道事務所も「（二十四時間利用を含め）認可の見込みは大きい」と太鼓判を押す状況で、九月中に正式決定する。

関越道では県内九カ所目のインターとなり、地元の吉岡町は「渋滞緩和や将来的な大型車のインター利用解禁に向け、周辺道路の整備が今後の課題」と強調。引き続き県や周辺市町村と連携して道路整備に取り組み、地域の活性化を推進したい考えだ。

利用台数は全国1位

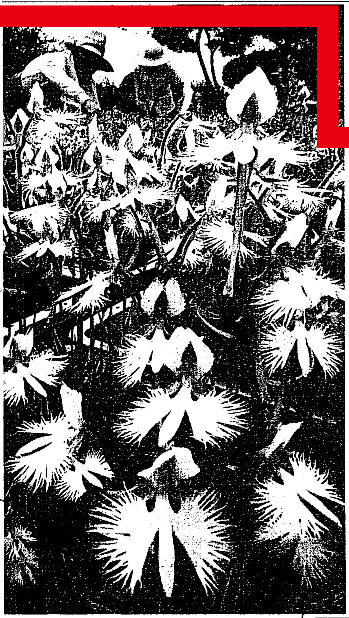

「駒寄インター社会実験」での月間利用台数の推移

地区協議会によると、インターの利用は右肩上がりに増加。七月の一日当たり平均利用は二千三百六十六台で、二〇〇四年十二月の実験開始当初から五倍以上の伸びを示した。通算利用台数は来週中に百万台に達する勢いで、記念のセレモニーが行われる。

実験中の管理運営費は人件費や照明灯の電気代など年間約五千万円に上る。この一年は七十二万台が通行し、仮に全車両が一区間のみ（三百円）の走行としても収入は二億円を上回る。二十四時間化で運営費は増大するが、同協議会は「収益は十分確保できるはず」と自信をのぞかせる。

利用者から要望の強い大型車の運行は、周辺道路の整備が進んでいないとして、十八日の申請では見送られた。九月末までの実験期間中と同様に、当面は軽自動車と普通車の利用となる。

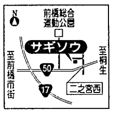
利用者アンケートでは、インター利用の理由について「時間が短縮」「目的地がインターの近く」を挙げる声が多い。駒寄に隣接する前橋、渋川伊香保両インターの利用状況は実験の前後でほとんど変化がなく、駒寄の利便性が新しい利用者を生んだとみられる。



優雅に揺れるサギソウ

前橋

前橋市二之宮町の関根文雄さん(71)方の庭で、約一万五千株のサギソウが咲き始めた＝写真。シラサギが優雅に空を舞うかのように、風に揺れるサギソウ。白い花に夏の日差しが反射する。関根さんは十五年ほど前に知人から苗を譲り受け、中国製の鉢やミズゴケを使用するなど、工夫を重ねて大切に栽培している。今月末まで楽しめるという。



材安定供給へ 対策検討会設置

22日、県など関係団体

産材センター（藤岡）の稼働に伴って原木を受け、県や林業関係体は二十二日、「木材定供給対策検討会」をし、高崎市台町の高同庁舎会議室で初会開く。森林組合と素産業者の連携、県の支援など具体策を検討し、原木の安定供給体制を構築する。

西毛流域林業活性化協議会（内山右之助会長）が主催。群馬森林管理署、県林業振興課や主に西毛流域の環境森林事務所、森林組合、木材関係団体などから二十三人が出席する予定。月一回のペースで会合を開いて協議する。

県藤岡環境森林事務所によると、柱材を大量生産する同センターが五月に本格稼働したが、市場への原木出荷量は前年同期比を大幅に下回る状態。原木価格が急騰し、製材工場が原木の確保に苦慮する状況になっているという。

総合計画を議決案件に

自民県連が条例化検討

自民党県連の正副政調会長会議は十八日開き、県政の長期総合計画の策定に県議会の議決を必要とする条例制定を目指すことを確認した。九月上旬に開催予定の県議会議会改革検討委に提案する。

県は今年三月、二〇〇六―一〇年度の総合計画「ぐんま新時代の県政方針」を策定した。一部の県議は総合計画検討委のメンバーとして参加しているが、南波和憲政調会長は「議会として計画に議決でかかわり、機能させたい」と説明。条例制定に向け、議会改革検討委に諮る意向だ。

同様の条例はすでに十七県で制定されている。昨年三月に制定した福島県は、同十二月に議決を経て計画の一部を見直したという。

県民と事業者 行政の連携確認

県温暖化対策会議

県地球温暖化対策推進会議（会長・高木勉副知事）は十八日、県庁で初会合を開き、県民・事業者・行政が連携して温暖化対策に取り組むことなどを確認した。

二酸化炭素の排出量の削減目標などを盛り込んだ第二次県地球温暖化対策推進計画を基本路線に抑止対策を進め、来年度中に計画の進行状況を確認する方針。

両毛市場構想 推進で思惑一致

太田、足利両市長

両毛五市（桐生、太、館林、栃木県足利、野）の市場を統合し「両毛地域総合地方売市場」（仮称）の備構想で、太田市の清水聖義市長と足利市の吉谷宗夫市長が十八日、太田市役所で会談した。各市の温度差で構想の先細りが懸念される中、清水、吉谷両市長は協力して構想を進める方向で一致した。

会談は吉谷市長の呼び掛けで実現。統合市場が置かれる候補地となり積極的に進めたい足利市と、統合市場を起爆剤に地域経済の活性化を図りたい太田市の思惑が一致した格好だ。

会談後、清水市長は「『アメ横』のような市民が利用できる場所を、分離して作ることも提案した」と述べた。

三十一日には、みどり市を加えた両毛六市長と卸売業者でつくる「両毛地域卸売業者協議会」が初めての懇談会を開き、検討を進める。

富岡市と単独合併承認

「広域」での努力も要望

下仁田町議会

富岡市と下仁田町の合併問題で同町議会は十八日、全員協議会を開き、合併協議推進に賛成する意向を示した。議会方針を受け岡田常夫町長は同日、岩井賢太郎市長と会談「町単独の編入合併」で合併協議会の前段となる準備会を設立したい考えを伝えた。

町議会は十一日の全協で甘楽町、南牧村との話し合いが必要として、町長方針の二市町枠合併に態度を保留。十八日の全協では「議会全員が合併の必要性を感じている」として基本的に同調する考えを示した。

岡田武二議長は南牧村議会との十七日の協議を踏まえ「南牧村から、先に（富岡市との）準備会を進めてほしいと言われた。ただ、南牧村、甘楽町を含めた広域合併への努力はしてほしい」と岡田町長に要望した。

両首長の会談は市役所で行い、岡田町長は「なるべく早い時期の合併」を要望。岩井市長は「下仁田町の意向を理解し、議会と相談させてもらい前向きに考えたい」と述べた。

小寺氏支援組織 吾妻郡に発足

知事選へ来月1000人集会

小寺弘之知事を支援する吾妻郡の支援組織「小寺知事と共に歩むあがつま県民の会」（萩原昭朗代表）は十八日、発起人会を中之条町で開き、小寺氏の五選支援活動を盛り上げる千人集会の開催を確認した。

集会は九月十八日に同町で開く。萩原代表は「小寺氏が正式な出馬表明をするための環境を整えていきたい」と集会の意義を強調した。

会は激戦が予想される来年夏の知事選をにらみ、先月末に発足した小寺氏支援の初の地域組織。発起人は郡内の企業や団体代表、町村長経験者ら百人が名を連ねる。

【訂正】18日付1面「滞水池で烏川浄化」の記事で、「和田田中町」とあるのは「和田多中町」の誤りでした。

湯の花饅頭 清芳亭
伊香保温泉入口 ☎0279(20)3939
季節のお菓子 黒糖水羊羹 伊香保くずきり

三山春秋

桐生市の商店街は南北二キロに及び、人口規模からみると、全国でも珍しい長さという。その南側にある本町六丁目で今月上旬の〈桐生八木節まつり〉の間、小さな〝変化〟が見られた▼七夕飾りに市販のものより手作り品が目立つようになったのだ。にぎやかな八木節につい目が行きがちだが、まつりを愛する市民にはこのことをぜひ知ってほしい▼桐生では一九六四年に祇園祭、七夕などの複数のまつりを統合し〈桐生まつり〉を立ち上げた。同時に八木節を導入、八八年には名称にも八木節を加えて今日まで続いている▼この八木節の隆盛に主役の座を奪われたのが七夕。市民の間に「仙台や平塚にも負けなかった」という自負はあっても、七夕飾りは今、本町六丁目のわずか三百㍍の区間でしか見られない▼五年ほど前、商店から「既製品なら、いっそ七夕をやめよう」の声が出た。だが、伝統文化消滅の危機感が手作り飾りを推し進め、今年は二十三本と三年前の倍近くに増えた。からくり飾りが人気を呼んだ往時とは異なるが、手間をかけた飾りは味わい深い▼出品したのは保育園、幼稚園、ガールスカウト、小学校、企業など。「織物のまちは織姫に一番近い。桐生から七夕をなくしてはいけない」。変化を支えるまちの人たちの思いは七夕の復活を予感させる。

麦作付け7割確保

7月末集計 県、目標83%に修正

麦助成の対象を集落営農組織と認定農業者に限定する国の品目横断的経営安定対策で、県は十八日、助成基準を満たした農家による麦の作付け面積が七月末の集計で71・4%となり、当初目標の70%を上回ったと発表した。組織づくりが順調なことを踏まえ、県は目標を83%に上方修正。対策の加入手続きが終了する十一月末までに達成する見通しだ。

県内の本年産麦の耕作面積は八千四㌶。このうち集落営農の組織化により三千三百十九㌶、認定農業者の育成や面積基準（四㌶以上）の達成で二千三百九十四㌶をそれぞれ確保し、合わせて耕作面積の七割を超える五千七百十三㌶に達した。

営農組織は、七十九組織が設立されたほか、三十四の設立準備会が立ち上がり、県目標の百十六組織にあと一歩の状況。

認定農業者は六百九十九人の目標に対し、基準をクリアしたのは四百三十人、61・5%にとどまっている。ただ、県が今年二月、認定農業者の認定基準を緩和したのを受け、市町村の基準が順次緩和される見通しで、今後、助成対象の認定農業者が増える見通しだ。

地域別では前橋、伊勢崎、渋川各市を含み全県の半分の面積を占める中部農業事務所管内の進ちょく率が77・5%、西部管内が77・6%、東部管内が57・8%。東部管内は、作付けが比較的大きい農家が多く、認定農業者の認定を受けたり、農地を独自に集約する必要があることから相対的に低くなっている。

県地域農業支援課によると、国の新制度への不参加を予定している農家は、稲作に力を入れているケースが多い。制度加入条件にコメの生産調整への参加があるため。生産調整するより、コメを可能なだけ作った方が経営上のメリットが大きいとの判断があるようだ。

特区校問題で 給与減案提出へ

9月定例会で太田市

太田市の英語教育特区校「ぐんま国際アカデミー」の私学助成金問題で、清水聖義市長は十八日、同校の運営費に充てると県に示した市長ら特別職の給与減額案について、市議会九月定例会に提出する方針を市議会各派代表者に提示した。

減額の割合は市長30%、助役20%、収入役、教育長、水道事業管理者各15%。十月分給与から実施し、年額計約千六十万円を同校の運営費に充てる考え。

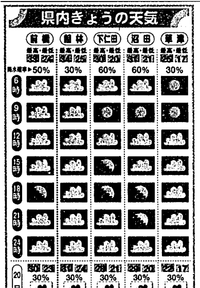
市議からは同日の議会運営委員会で、「学校と関係ない水道事業管理者の給与まで引き下げるのはどうか」など疑問視する意見も相次ぎ、減額案の可決は流動的となっている。

旧新田系会派 1人が離脱

太田市議会

太田市議会（七十三人）の旧新田町系市議でつくる会派、新田クラブ（八人）から一人が離脱し、新たに一人会派「神明」を届け出たことが、十八日の議会運営委員会に報告された。

議案審議をめぐる会派内の意見対立や、来春の市議選をにらんだ動きとみられる。市議会の会派数は一人会派を含め計十四となった。

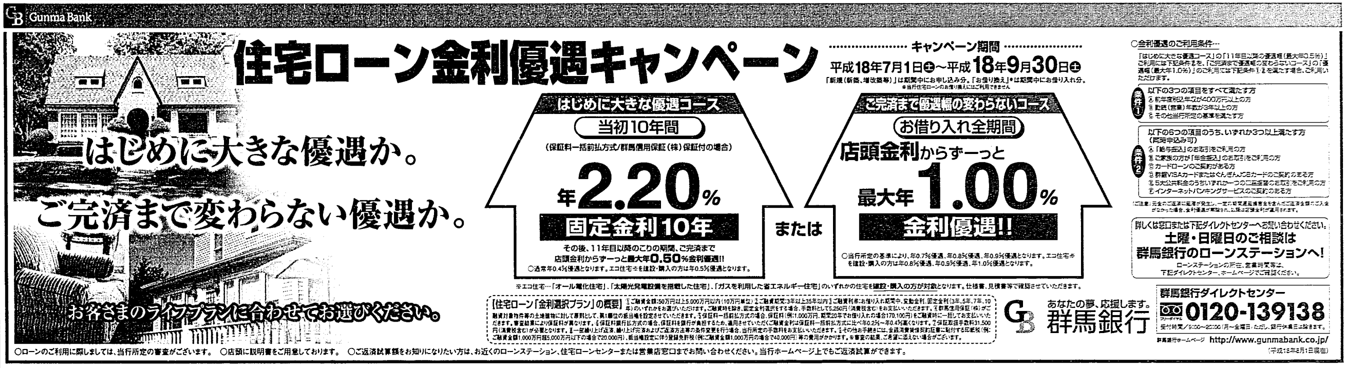


紙面ガイド

小学国語で古典指導 ②

学習指導要領の見直しを進める中教審の教育課程部会は、小学校国語の授業に「暗唱と音読」を重視した古文・漢文など古典の指導を盛り込む方向で検討に入った。現在の指導要領よりも「文化の継承」を強調、古典重視を鮮明にした。

- 「普天間移設」で協議機関（2）
- 船員の遺体、引き取りへ（3）
- フタタ、コナカと統合（10）
- 高崎駅周辺にホテル急増（11）
- 岩宿遺跡周辺を整備へ（18）
- イノシシ農作物被害急増（19）


Gunma Bank
住宅ローン金利優遇キャンペーン
キャンペーン期間 平成18年7月1日㊏〜平成18年9月30日㊏
「新規（新築、増改築等）」は期間中にお申し込み分。「お借り換え」※は期間中にお借り入れ分。
はじめに大きな優遇か。
ご完済まで変わらない優遇か。
はじめに大きな優遇コース
当初10年間
（保証料一括前払方式／群馬信用保証（株）保証付の場合）
年2.20%
固定金利10年
その後、11年目以降のこりの期間、ご完済まで店頭金利からずーっと最大年0.50%金利優遇!!
○通常年0.4%優遇となります。エコ住宅※を建設・購入の方は年0.5%優遇となります。
または
ご完済まで優遇幅の変わらないコース
お借り入れ全期間
店頭金利からずーっと
最大年1.00%
金利優遇!!
○当行所定の基準により、年0.7%優遇、年0.8%優遇、年0.9%優遇となります。エコ住宅※を建設・購入の方は年0.8%優遇、年0.9%優遇、年1.0%優遇となります。
※エコ住宅…「オール電化住宅」、「太陽光発電設備を搭載した住宅」、「ガスを利用した省エネルギー住宅」のいずれかの住宅を建設・購入の方が対象となります。仕様書、見積書等で確認させていただきます。
お客さまのライフプランに合わせてお選びください。
○金利優遇のご利用条件…
条件① 以下の3つの項目をすべて満たす方
条件② 以下の6つの項目のうち、いずれか3つ以上満たす方
詳しくは窓口または下記ダイレクトセンターへお問い合わせください。
土曜・日曜日のご相談は群馬銀行のローンステーションへ!
【住宅ローン「金利選択プラン」の概要】
あなたの夢、応援します。 群馬銀行
群馬銀行ダイレクトセンター 0120-139138
群馬銀行ホームページ http://www.gunmabank.co.jp/
○ローンのご利用に際しましては、当行所定の審査がございます。 ○店頭に説明書をご用意しております。 ○ご返済試算額をお知りになりたい方は、お近くのローンステーション、住宅ローンセンターまたは営業店窓口までお問い合わせください。当行ホームページ上でもご返済試算ができます。
（平成18年8月1日現在）

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。